

連合会・組合員・J Aが“ONE TEAM”！

変革の刻仕掛ける営農で那須野農業の未来図を描く

J Aなすの（菊地秀俊組合長）は、県内に先駆けて導入した『J A営農・経済事業の成長・効率化プログラム』（農林中央金庫提供）の最終報告会を10月12日に本店で行います。このプログラムは、営農・経済事業の収支を改善し持続可能なJ A経営基盤の確立・強化を目指すもので、2019年度までに全国で10県域が導入し、2020年度上期はさらに10県域が取り組んでいます。ぜひご取材ください。

プログラム概要

連合会（J A栃木中央会、農林中央金庫、J A全農とちぎ、J A共済連栃木）が実践支援チームを組み、J Aなすのをサポート。農林中金・（株）セルムの7人が9月から14週間、J Aに常駐し、営農部・経済部の部課長と収支や財務・運営面などの課題について徹底的に議論を重ねてきました。そこで成長・効率化施策を打ち出し、3カ年の行動計画をまとめ、10月から実行に移します。

今後は、具体策に基づき、組合員への対応力の強化と事業の収益向上を両立させ、持続可能な経営基盤の確立を目指します。



▲プログラム始動に決意！菊地組合長ⓉとJ A栃木中央会、農林中金本支店、J A全農とちぎ、J A共済連栃木の代表、当J A常勤役員

（9月3日 中間報告にて）

最終報告会 開催概要

日時：10月12日（月）午前9時～午前11時30分

場所：J Aなすの本店2階大会議室 住所：那須塩原市黒磯6-1

出席者：J A栃木中央会・農林中金本支店・J A全農とちぎ・J A共済連栃木の代表、J Aなすの常勤役員・室部長・担当課長など総勢50人

内容：J Aなすのの財務分析、収支の成行分析結果の確認と改善目標額の共有。
改革実現に向けたソリューションの確認と今後の進捗確認方法の報告。
各ソリューションの実行計画について担当課長がプレゼンを行う。

J Aなすのは、大田原市・那須町・那須塩原市を管内とする農業協同組合です。“農業や地域にとってなくてはならない存在”だと、組合員をはじめ地域の皆さまに感じていただけるよう、創造的自己改革に取り組んでいます。

この件に関するお問い合わせ先

J Aなすの 総合企画部 総務課 広報担当：阿久津 遊

直通電話：0287-62-5555 携帯：080-9185-7694

email：yuu-ogawa@janasuno.or.jp